

川づくりワークショップ

【第2号】
平成24年5月18日発行
古賀市役所建設産業部建設課

第2回ワークショップ開催！

～皆さんと考える川づくり
第2回ワークショップを開催しました～

平成24年5月12日（土）、13時30分から市民の皆さんに集まっていただき、第2回ワークショップを開催しました。

当日は晴天にも恵まれ、午前中は「古賀市10万本ふるさとの森づくり」の育林イベントで心地よい汗を流し、引き続き午後のワークショップに参加された方も多数いらっしゃいました。

さて、今回のワークショップの内容は、大根川の歴史の話から、川にある井堰や落差工の高さによってどのように水が流れるのかといった河川工学の専門的な話まで幅広いものでした。

では、第2回ワークショップを振り返ってみましょう。



ワークショップの様子

第2回ワークショップの内容

- ・大根川の災害の歴史、整備の歴史
→河川構造のお話
- ・本日の感想（意見発表）
- ・本日のまとめ

予定では、大根川の歴史を学んだあとに、「川づくりを検討する範囲」についても皆さんと考えて決定することとしておりましたが、皆さんの川についてもっと知りたいという熱い思いを受け、島谷教授から解りやすく河川構造のお話（講義）もしていただくこととなり、予定の時間とな

りました。そこで、「川づくりを検討する範囲」の決定については、次回に持ち越すこととなりました。

大根川の災害の歴史、整備の歴史

福岡県土整備事務所の豊増係長から、大根川の歴史についてお話をいただきました。



大根川の歴史の説明

川の名前の由来、昔は洪水よりも早魃^{かんぼつ}が多かったこと、また昭和28年の災害及びその復旧状況などを学ぶことができました。また、大根川の整備により河道が大きく変わったことも、航空写真を用いて説明を受けました。

さらに、大根川と谷山川の合流部にある導流堤（通称「象の鼻」）は、昭和28年の水害後、河川整備の中で作られたものであることも航空写真からわかりました。



導流堤（通称「象の鼻」）

また、旧河川への流量については、通常時はほとんど全ての水が旧河川に流入しているということ、また、大根川と谷山川が合流した地点より下流側で古賀市が飲み水として取水していることから、流入量を減らすことができないとの説明を受けました。

河川構造のお話

旧河川への流入管の高さ、落差工の高さ、取水井堰の高さってどうやって決まったのだろう？ また、その高さを変えると水量はどうなるのだろう？

これらの点は、川づくりの整備イメージを作っていく上で非常に重要です。そこで、島谷教授に説明をお願いしました。

一例を挙げて簡単に復習してみましょう。

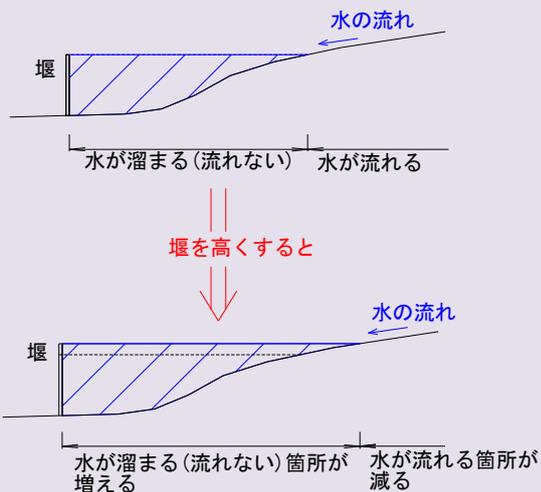
例 取水堰の高さを上げるとどうなる？

取水堰の高さを上げると…

堰の上流側の水は、今よりもっと溜まることから、水の溜まる範囲が上流側に広がります。

つまり、旧河川で今まで水の流れがあった箇所にも水が溜まることによって水の流れが無くなり、旧河川の水の流れがある箇所が少なくなってしまいます。

図示すると次のようになりますね。



専門的な内容でしたが、皆さんご理解いただけましたでしょうか。今回学習したことを今後の川づくりに活かしていきましょう。

以上、河川工学の講義（お話）の振り返りでした。

本日の感想（意見発表）

感想のいくつかをご紹介します。

- (1) 今回学習したことについて
 - ・大根川の歴史や川の基礎知識、先人の思いをもって作られた川について勉強できてよかった。
- (2) これからを担う青年、子供に向けて
 - ・子供たちに残せる大切な水辺にしていきたい。
 - ・昔の様に子供が遊べる場所が出来ればいいと思う。
- (3) ワークショップの進行、検討範囲について
 - ・大根川全体を視野に入れながら、まずは三角州をどう

するか話し合って形を作りたい。

- ・大根川全体（川の上流から河口まで）の事を考えながら、計画をまとめたほうが良い。
- ・参加者の意見が河川工学の専門的な点、市の河川対策、水質の件まで広がり方向が絞りにくい。親水広場的に絞りを、モデルケースとして早く実現したいと思う。

ワークショップで検討する範囲については皆さんの意見が分かれるところだと思います。次回、皆さんで話し合って決めたいと思います。

(4) 環境について

- ・大根川井堰に太陽光発電、水力発電、風力発電等を設置したらよと思う。
- ・まずは川の水をきれいにしたい。

(5) 市民パワーについて

- ・皆さんが積極的で多くの意見が出て、充実したワークショップになったと思う。
- ・皆さんの熱い思いに触れることが出来て非常に有意義な時間でした。

このワークショップは皆さん全員が主役です。これからもパワー全開で、よりよい川づくりに向けて一緒に取り組んでいきましょう。

本日のまとめ

今回も、改めて皆さんの川に対する熱い思いに触れることが出来ました。

本日のワークショップでは、大根川の歴史を学ぶことができました。また、川づくりを行っていく上で知っておくべき知識を学ぶことができました。

次回のワークショップのご案内

今回は、**6月2日（土）13:30~15:30、市役所大会議室**で開催します。

テーマは次のとおりです。お誘いあわせの上、皆さんのご参加をお待ちしております。

次回のテーマ

- ・川づくりを検討する範囲について考えます。
- ・図面を使って実際に川づくりを考えます。